

# 生産部門の管理者が職場で行うべき 5つのマネジメントセミナー

～ 実務を確実に行之、職場の目標を達成させる ～

(旧名称：生産部門の管理者のための実践マネジメント研修)

開催日時	2025年10月23日(木)～24日(金) 2026年1月20日(火)～21日(水)	東京会場 オンライン	各回とも2日間 10:00～17:00
対象	【生産部門】・新任管理者・管理者候補 ・職場での管理能力を高めたい管理者 ・成果・結果を出し続ける職場を実現したい管理者	会場	日本能率協会 研修室 (東京・港区・芝公園)
講師	峯村 隆久 氏 (株)セフィーロ 代表取締役社長 人・組織GIコンサルタント	参加料(税込)	法人会員：118,800円/1名 会員外：129,800円/1名

※参加料にはテキスト(資料)費が含まれています。  
※法人会員ご入会の有無につきましては以下URLにてご確認ください。  
<https://www.jma.or.jp/membership/>  
※お申し込みページ内参加申込規定を確認・同意のうえお申し込みください。

## 職場としての問題認識

- ・不良やトラブルが多い・減らない。
- ・残業時間が多い・減らない。
- ・目標が達成できない・成果が出ない。
- ・職場に活力がない・指示待ち体質。

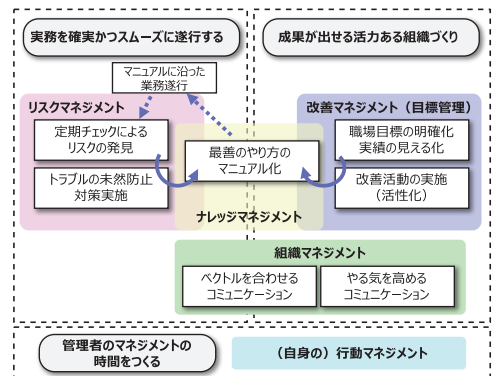
管理者が職場で十分なマネジメントができていない?

## 管理者としての悩み

- ・マネジメントを体系的に学んだことがなく何をすべきかわからない。
- ・目標管理・リスク管理・人材育成など、やるべきことが多すぎて混乱してしまう。
- ・プレーイングマネージャーとして実務も持っていて、マネジメントの時間がとれない。

## 本セミナーのねらい(ポイント)

- ・職場単位で行うべきマネジメントの全体像を体系的に学び、何をすべきかが明確になります。
- ・マネジメントの全体像を学ぶことでやるべきことを関連づけることができ、学びやすいだけでなく、マネジメントの構築の労力が最小化できます。
- ・「実務をやらなければならない」、「マネジメントの時間が取れない」という管理者の悩みに対して、改めて管理者の役割と自分の行動管理についても学んでいただき、職場全員でより良い職場づくりが実践できるようになります。
- ・受講者同士の交流を通じて、各社・各職場でのマネジメント実践内容を共有することができます。



## ■ プログラム

2日間 10:00～17:00 【昼食】 12:00～13:00

### 1日目

#### 1 生産部門の管理者としての責任と役割

- ①企業として努力していること
  - ・企業間競争と生産部門を取り巻く環境変化
  - ・安全、QCD、環境、コンプライアンス…
- ②管理者としての責任と役割
  - ・目指すべき職場の状態
  - ・管理者の責任と役割
  - ・自身の行動管理の重要性

#### 2 実務を確実にスムーズに遂行させる

- ①実務を確実にスムーズに遂行するために必要なこと
- ②トラブルを未然に防ぐ：リスクマネジメント
  - ・リスク・ヒヤリハット・トラブル
  - ・リスクマネジメント全体像と実施すべきこと

【討議】 自職場でのリスクマネジメント実践状況と今後の対応
- ③最善のやり方を実践できる環境をつくる：ナレッジマネジメント
  - ・ノウハウの見える化（マニュアル類の整備）の意義
  - ・見える化するべきノウハウとは

【演習】 自職場のノウハウの管理表をつくる

【討議】 自職場のマニュアル類整備状況と今後の対応

### 2日目

#### 3 成果が出せる活力ある組織づくりをつくる

- ①成果が出せる活力ある組織づくりに必要なこと
- ②成果を確実に出す：改善マネジメント（目標管理）
  - ・目標管理の全体像とうまく機能させるためのポイント

【討議】 自職場での目標展開と実績の振り返りと今後の対応
- ③活力かつ一体感のある組織をつくる：組織マネジメント
  - ・組織マネジメントの3つの課題
  - ・主体性（自律力）を高めるために

【演習】 自身の自律力を高める言葉を見つける

#### 4 管理者がマネジメントの時間を確保し実践する

- ①管理者に求められる意識と行動
- ②管理者としての時間を意図してつくる：行動マネジメント
  - ・行動マネジメントのポイント
  - ・やるべきことの優先順位の付け方

【演習】 ToDoリストを作成する

#### 5 まとめ

- ・職場のマネジメントとしての実施項目
- 【演習】 今後の実践事項

【関連セミナー】 一体感のある組織づくりのためのマネジメントを体系的かつ実践的に学びます。  
「管理・監督者のための組織マネジメント力向上セミナー」(JMA100335)をご活用ください。

※プログラム内容は変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

